

みんなの消防

入間東部地区消防組合(三芳町・富士見市・ふじみ野市)
 〒356-0058 ふじみ野市大井中央1-1-19 ☎261-6000(代) FAX 261-4395
 H http://www.irumatohbu119.jp/ ✉shobo@irumatohbu119.jp(代)
 火災の問い合わせ ☎049(263)0119 (音声案内)
 救急病院の御案内 ☎049(261)6031 (休日・夜間)

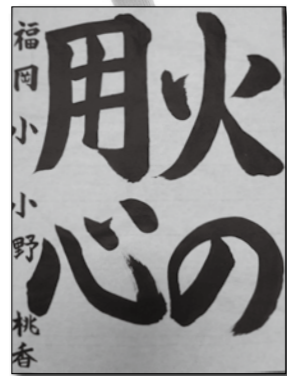
▼ 防火作品の紹介

火災予防喚起、防火意識の普及を目的とした防火作品を募集しました。審査の結果、最優秀賞が次のとおり選出されました。
 これらの作品は火災予防運動などのPRに幅広く活用します。

【応募総数】

- ▶防火習字の部…1086件
- ▶防火ポスターの部…834件
- ▶防火標語の部…163件

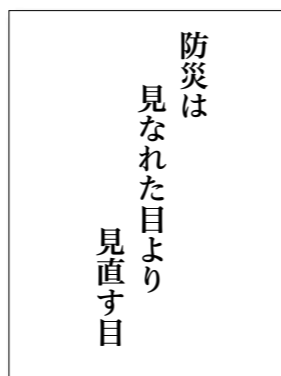
図予防課 261-6007



-習字の部-
福岡小学校 4年
小野 桃香
おの ももか



-ポスターの部-
さぎの森小学校 4年
原田 芽依
はらだ めい



-標語の部-
三芳町
窪田 榮夫
くぼた じげお

▼ 消防組合からのお知らせ

▶ 第37回 九都県市合同防災訓練

近年、「首都直下地震」や「東海地震」の発生が懸念される中、地震による被害を最小限に食い止めるため、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市が合同で防災訓練を実施しています。今回、埼玉県会場に位置づけられた防災訓練が8月28日(日)にふじみ野市で行われました。当組合は、協力団体として173名、消防車10台が参加。多発するゲリラ豪雨による水害や、都市型災害を想定した訓練を実施しました。 図警防課 261-6659



河川救出訓練で、車に取り残された要救助者を救出する救助隊員。



特殊災害訓練で有毒ガス吸引の要救助者を救出する救助隊員。

▶ 救命入門コース～親子で参加～ 初開催



実技の説明を真剣に聞く親子。

8月6日(出)、消防本部大講堂で、管内の小学校4年～6年生の親子を対象に救命入門コースを開催しました。このコースは、将来を担う子どもたちに救命の心を育むことを目的に、当組合で初めての開催となりました。親子で心肺蘇生法やAEDの使い方を一緒に学び、参加者からは「命について考える良いきっかけになった」という声が聞かれました。来年度も実施していく予定です。 図救急課 261-6673

▼ 平成27年度 入間東部地区消防組合 決算概要

歳入	
分担金及び負担金	3,110,174,000円
組合債	105,100,000円
繰越金	89,171,476円
その他	15,424,363円
合計	3,319,869,839円

歳出	
常備消防費	2,679,909,170円
非常備消防費	102,806,243円
公債費	408,490,057円
議会費	4,325,878円
その他	1,498,346円
合計	3,197,029,694円

- 歳入 負担金内訳 -

三芳町	580,783,135円
富士見市	1,125,494,903円
ふじみ野市	1,403,895,962円

- 歳出 消防団運営費内訳 -

三芳消防団	22,467,016円
富士見消防団	29,619,138円
ふじみ野消防団	50,720,089円

海外で貴重な体験を 中学生海外派遣 in マレーシア



教育だより 図 学校教育課 内線 522



↑独立記念公園にて。生徒たちの着ている青いポロシャツには、みらいくんとのもみちゃん、日本とマレーシアの国旗を持っているイラストが描かれています。

異国の歴史や文化にふれることで、新しい自分の発見と国際社会の中で活躍できる人材を育成することを目的とした中学生海外派遣を今年も開催しました。

町では、グローバル社会の進展に向けた次世代を担う子どもたちの育成の一環として、平成29年度から三芳町中学生海外派遣を実施しています。17回目を迎えた今年度も町内中学生10人が参加しました。派遣生徒一人ひとりが各自のテーマを決め、積極的に事前学習に励み、7月24日～7月29日までの6日間、マレーシアでのホームステイや現地校との交流などを行いました。

初めのうちは、慣れない英語でのコミュニケーションに苦労していたようですが、言葉で十分に気持ちが伝えられなくても「相手に気持ちが伝えよう、相手を理解しよう」という心が一番大切だということに気づき、ホストファミリーや現地校の生徒たちと積極的にコミュニケーションを図る姿が見られました。授業参加、異文化交流、農業体験、自然体験のほか、民族・歴史・文化施設の視察等、現地校の生徒とともに過ごし、絆を深めました。

今回の海外派遣でマレーシアの人々の温かい心につれ、言葉や文化の壁を越えた国際親善交流ができました。生徒たちにとって、異国の歴史や文化にふれ、心の交流ができたことは貴重な体験になったことでしょう。

帰国後、派遣生徒たちは、海外派

こんなことをしてきました!



*1 バディと一緒に校外学習へ



一緒にゲームをし、交流を深めます



調理実習で現地の料理を手作り

のまとめと事後学習を行い、町および各中学校で報告会を実施してその成果を発信しました。

参加者に聞きました! 帰国後のひとこと

▶初めての海外、英語が話せるか不安だったけど、バディが理解しようと一生懸命聞いてくれ、優しかった。▶単語やジェスチャーなど、自分がかたく扱えない言語の中で過ごしたからこそ、積極的な姿勢や自分の気持ちを表現する態度が身に付いた。▶この体験で、コミュニケーションのとり方は、会話だけでなく、同じことをともに経験することでもできるのだと思った。▶10人の派遣生徒とも楽しく過ごせた。マレーシアの人達は、宗教や文化が違ってそれを尊重して仲良くしていた。▶この派遣で外国の人との関わり方や考え方を知ったので、今後外国語活動に生かしていきたい。また2020年の東京オリンピックでは、この体験を生かしてボランティアなどしてみたい。

*1 ホストファミリーの家庭にいる同じ年代の子ども。現地での様々な体験と一緒に行う

たくさんの
思い出ができたよ!

